

# バランス物語

(30 (安定型) / 50 (安定・成長型) / 70 (成長型) )

追加型投信 / 内外 / 資産複合

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

各ファンドは、主にマザーファンドを通じて国内株式・国内債券・外国株式・外国債券の4つのアセット（資産）に投資し、基本アロケーションのもと、個別資産毎にアクティブ運用を行い、合成インデックスをベンチマークとして超過収益を積み上げることを図ります。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年8月26日～2021年2月25日

第40期	決算日：2021年2月25日
第40期末（2021年2月25日）	
バランス物語30（安定型）	
基準価額	13,049円
純資産総額	2,027百万円
第40期騰落率	3.8%
第40期分配金合計	10円
バランス物語50（安定・成長型）	
基準価額	14,895円
純資産総額	1,147百万円
第40期騰落率	7.5%
第40期分配金合計	20円
バランス物語70（成長型）	
基準価額	16,475円
純資産総額	652百万円
第40期騰落率	10.9%
第40期分配金合計	30円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

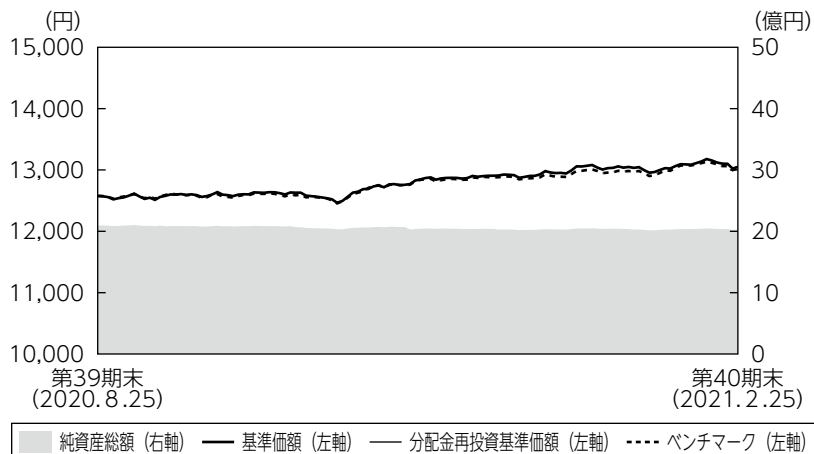
アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

バランス物語30（安定型）

### 基準価額等の推移



第40期首： 12,577円  
 第40期末： 13,049円  
 (既払分配金10円)  
 騰落率： 3.8%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、期首の基準価額に合わせて指数化していません。なお、ベンチマークについては後掲の＜当ファンドのベンチマークについて＞をご参照ください。

### 基準価額の主な変動要因

主要国による大規模な財政出動と金融緩和策によるサポートを好感したことや、新型コロナウイルスのワクチンの普及期待と経済再開に対する期待感等を背景に世界的に株式市場が上昇したこと、為替市場でリスク回避姿勢が後退したこと等を背景に多くの組入通貨に対し円安現地通貨高となったこと等がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
DL ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	22.0%
DL ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	△0.2%
DL インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	15.9%
DL インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	△0.2%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第40期		項目の概要
	(2020年8月26日 ～2021年2月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	106円	0.832%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,800円です。
(投信会社)	( 53)	(0.416)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 46)	(0.360)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 7)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.005	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 1)	(0.005)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	0	0.003	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.001)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	108	0.840	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

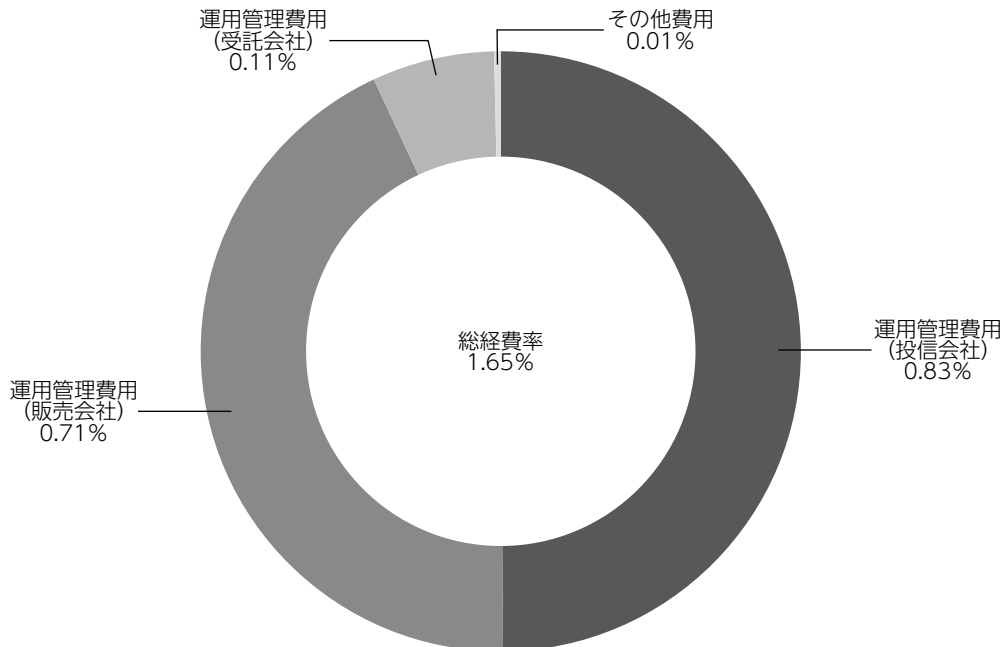
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.65%です。



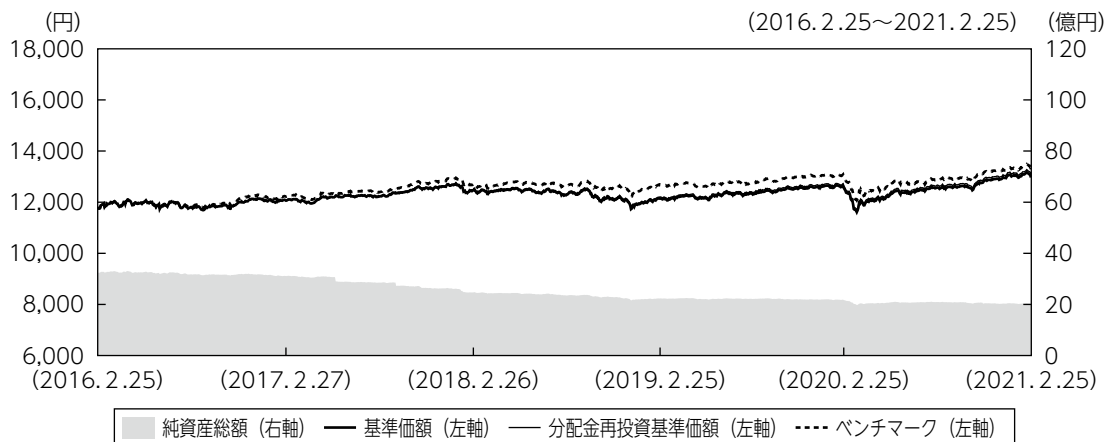
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

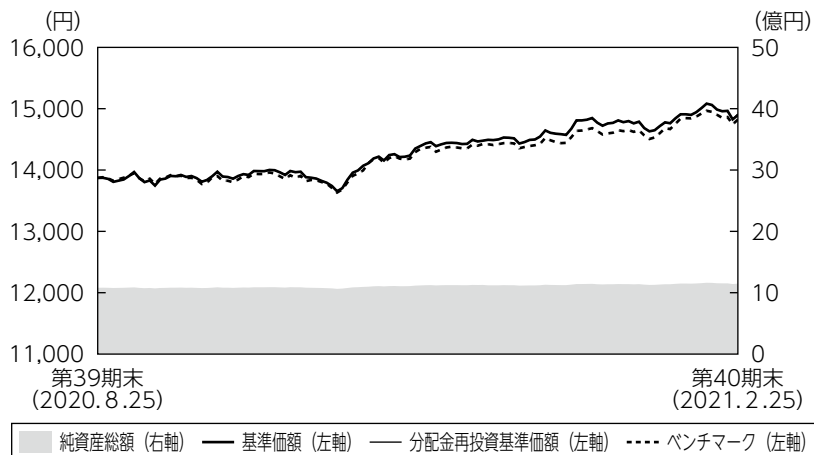


- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2016年2月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2016年2月25日 期首	2017年2月27日 決算日	2018年2月26日 決算日	2019年2月25日 決算日	2020年2月25日 決算日	2021年2月25日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	11,737	12,059	12,462	12,147	12,556	13,049
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	20	20	20	20	20
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	2.9	3.5	△2.4	3.5	4.1
ベンチマークの騰落率	(%)	—	4.1	4.0	△0.1	2.3	3.1
純資産総額	(百万円)	3,231	3,107	2,469	2,232	2,169	2,027

バランス物語50 (安定・成長型)

基準価額等の推移



第40期首 : 13,872円  
 第40期末 : 14,895円  
 (既払分配金20円)  
 騰落率 : 7.5%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の「当ファンドのベンチマークについて」をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

主要国による大規模な財政出動と金融緩和策によるサポートを好感したことや、新型コロナウイルスのワクチンの普及期待と経済再開に対する期待感等を背景に世界的に株式市場が上昇したこと、為替市場でリスク回避姿勢が後退したこと等を背景に多くの組入通貨に対し円安現地通貨高となったこと等がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
DL日本・アクティブ・オープン・マザーファンド	22.0%
DL日本・ボンド・オープン・マザーファンド	△0.2%
DL国際・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	15.9%
DL国際・ボンド・オープン・マザーファンド	△0.2%

## 1万口当たりの費用明細

項目	第40期		項目の概要
	(2020年8月26日 ～2021年2月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	119円	0.832%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,310円です。
(投信会社)	( 60)	(0.416)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 52)	(0.360)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 8)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.009	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 1)	(0.009)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.004	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.002)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	121	0.845	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

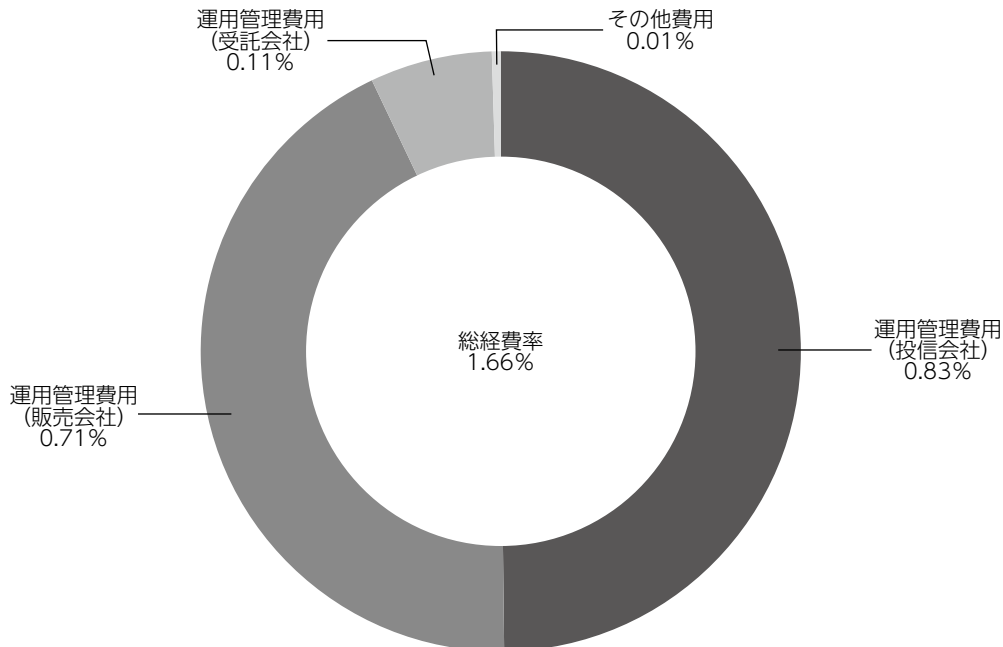
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

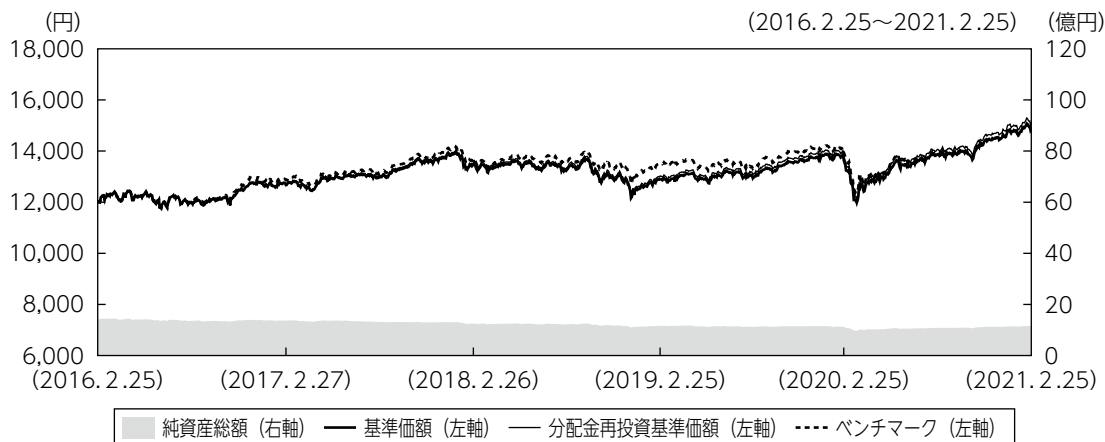
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## 最近5年間の基準価額等の推移

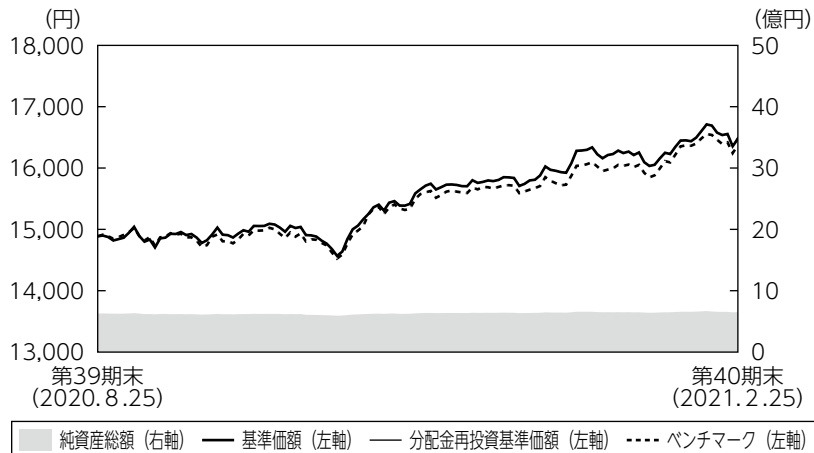


- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2016年2月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2016年2月25日 期首	2017年2月27日 決算日	2018年2月26日 決算日	2019年2月25日 決算日	2020年2月25日 決算日	2021年2月25日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	11,965	12,666	13,459	12,904	13,637	14,895
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	40	40	40	40	40
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	6.2	6.6	△3.8	6.0	9.5
ベンチマークの騰落率	(%)	—	7.5	6.4	△1.1	3.1	7.0
純資産総額	(百万円)	1,408	1,361	1,248	1,162	1,114	1,147

バランス物語70 (成長型)

■ 基準価額等の推移



第40期首： 14,889円  
 第40期末： 16,475円  
 (既払分配金30円)  
 騰落率： 10.9%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

■ 基準価額の主な変動要因

主要国による大規模な財政出動と金融緩和策によるサポートを好感したことや、新型コロナウイルスのワクチンの普及期待と経済再開に対する期待感等を背景に世界的に株式市場が上昇したこと、為替市場でリスク回避姿勢が後退したこと等を背景に多くの組入通貨に対し円安現地通貨高となったこと等がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
DL日本・アクティブ・オープン・マザーファンド	22.0%
DL日本・ボンド・オープン・マザーファンド	△0.2%
DL国際・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	15.9%
DL国際・ボンド・オープン・マザーファンド	△0.2%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第40期		項目の概要
	(2020年8月26日 ～2021年2月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	129円	0.832%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,541円です。
(投信会社)	( 65)	(0.416)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 56)	(0.360)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 9)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.013	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 2)	(0.013)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.005	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.003)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	132	0.849	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

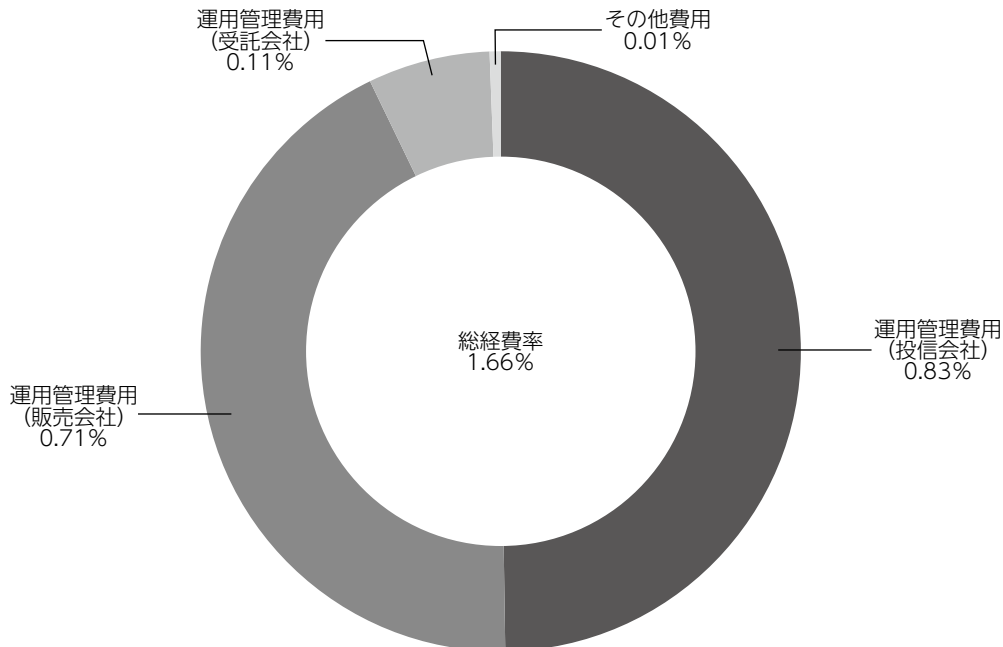
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66%です。



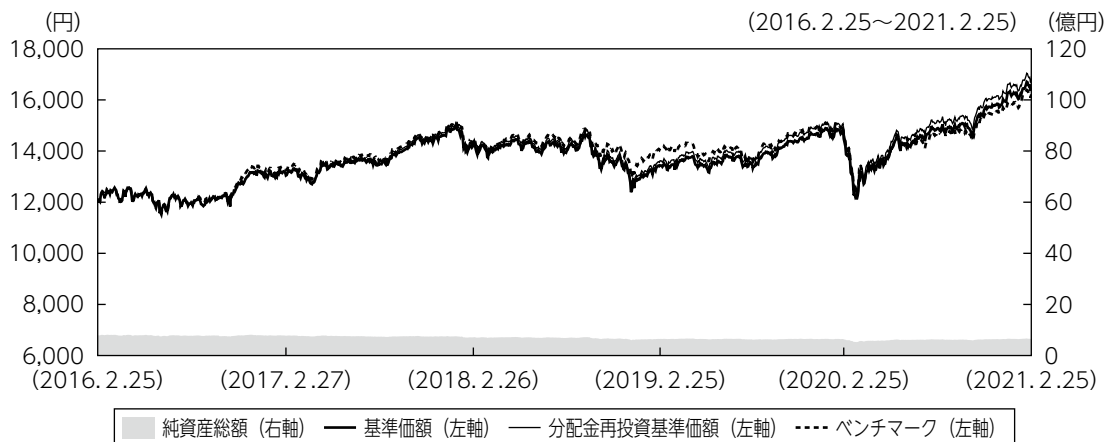
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2016年2月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2016年2月25日 期首	2017年2月27日 決算日	2018年2月26日 決算日	2019年2月25日 決算日	2020年2月25日 決算日	2021年2月25日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	11,987	13,045	14,210	13,438	14,478	16,475
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	60	60	60	60	60
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	9.4	9.4	△5.0	8.2	14.2
ベンチマークの騰落率	(%)	—	10.6	8.7	△2.1	3.9	10.7
純資産総額	(百万円)	783	773	713	649	631	652

## 投資環境

国内株式市場は上昇しました。期初は欧米での新型コロナウイルス感染者数増加への警戒や、米国大統領選挙・連邦議会選挙見通しの不透明感などを背景に揉み合いが続きました。2020年11月以降は、米国新政権による財政政策や新型コロナウイルスワクチンの早期実用化への期待などから騰勢を強め、期末にかけて上値を切り上げる展開となりました。

国内債券市場では、長期金利（10年国債利回り）は、2021年1月まで0%から0.05%の狭いレンジでの推移を継続しましたが、新型コロナウイルスワクチン接種の進展や米国の大規模な財政政策を背景とした景気回復観測、インフレ期待の高まりから、2月に入ると世界的に上昇基調を強める展開となりました。加えて、日銀が金利変動を高める政策を打ち出すとの観測もあり、長期金利は一時0.15%と、2018年10月以来の水準まで上昇しました。

外国株式市場は、期初から2020年10月末にかけては米欧における新型コロナウイルスの感染再拡大や米国大統領選挙を控えたリスク回避的な動きにより軟調に推移しました。11月以降は米国新政権による経済対策や新型コロナウイルスワクチンの早期普及に対する期待感、英国とEU（欧州連合）の通商合意などを支援材料に上昇基調に転じ、前期末対比で上昇しました。

外国債券市場では、新型コロナウイルスのワクチン開発が進展したことや、米国大統領選挙の結果を受けて大規模な経済対策による景気回復期待が高まったことなどを背景に国債利回りが上昇（価格は下落）しました。米国債利回りは一時的に揉み合う展開はありましたが、期を通じて上昇基調が続きました。ドイツ国債利回りは、欧州での新型コロナウイルス感染拡大を受けて2020年は低下基調で推移しましたが、2021年に入ると米国債に連れて上昇に転じました。

為替市場では多くの通貨に対して円安となりました。ドル／円相場は、経済再開に対する期待感等を背景にリスク回避姿勢が後退したことや、米国の金利上昇を背景とした内外金利差の拡大等を材料に小幅な円安ドル高となりました。その他の主要通貨に対しても、リスク回避姿勢が後退したことや、海外金利の上昇を背景とした内外金利差の拡大等を材料に、多くの通貨に対して円安現地通貨高となりました。

## ポートフォリオについて

各ファンドでは、各マザーファンドへの投資比率が以下の基本アロケーションからそれぞれ±5%以内の範囲で配分比率を抑えるよう運用を行いました。

### <基本アロケーション>

バランス物語30 (安定型) :

国内株式：19% 国内債券：65% 外国株式：5% 外国債券：8% 短期金融資産：3%

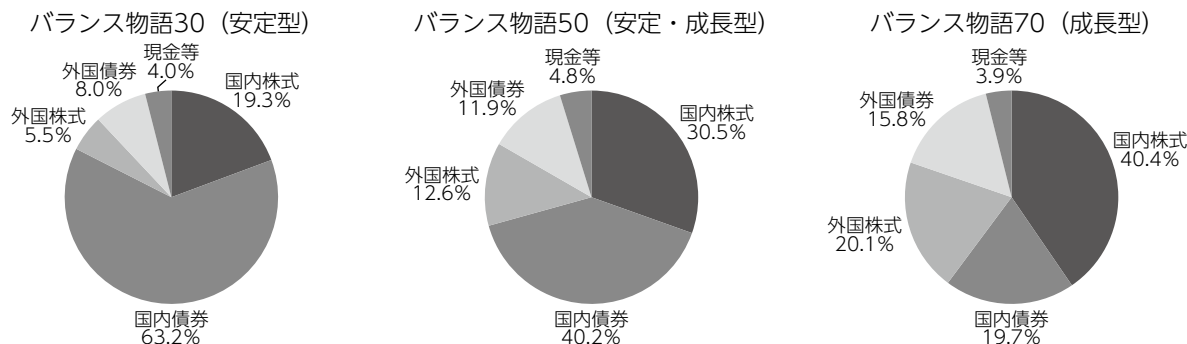
バランス物語50 (安定・成長型) :

国内株式：30% 国内債券：43% 外国株式：12% 外国債券：12% 短期金融資産：3%

バランス物語70 (成長型) :

国内株式：40% 国内債券：22% 外国株式：19% 外国債券：16% 短期金融資産：3%

### 決算日 (2021年2月25日) 現在の組入比率



### ● DL ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド

各業界において競争力の優れた高成長銘柄やバリュエーション面で割安な銘柄など、個別銘柄の選別投資に注力しました。企業のファンダメンタルズ分析に加えて、短期的・中長期的な視点で株価への織り込み度合いを勘案し、より割安と判断される銘柄への入れ替えを継続的に行いました。その結果、化学、鉄鋼などの組入比率を引き上げた一方、情報・通信業、小売業などの組入比率を引き下げました。

### ● DL ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド

デュレーション\*・イールドカーブ戦略は、超長期金利の上昇基調が継続する中、超長期ゾーンをアンダーウェイトとしたデュレーション短期化戦略を維持しました。クレジット戦略では、高めの利回り収益が期待できる事業債等を多めに保有する戦略を維持しました。

\*金利変動に対する債券価格の変動性。

●DL インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド

各国のマクロ経済分析等によるトップダウン・アプローチを活用しつつ、企業調査活動を基にしたボトムアップ・アプローチによるポートフォリオ構築を行いました。こうした中、業種別では情報技術セクターや資本財セクターに対する投資比率を高位に維持しました。国別・地域別では、米国や欧州への投資比率を高位に維持しました。

●DL インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド

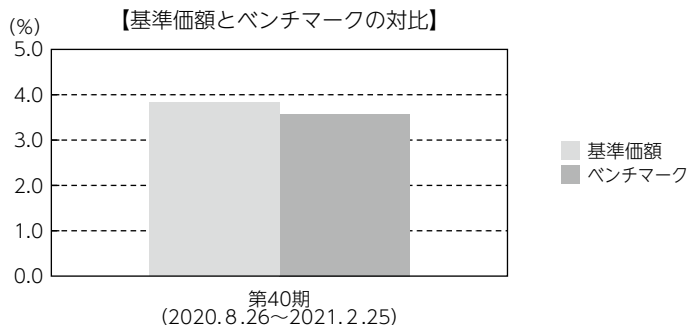
銘柄選択では、米国のデュレーションを長期化した一方、ユーロ圏とオーストラリアで短期化しました。また、期待収益率の高いイタリアやスペイン等の周辺国やメキシコのオーバーウェイト戦略を維持しました。通貨配分では、米ドルのアンダーウェイト戦略を基本とし、ユーロのオーバーウェイトを段階的に縮小した一方、豪ドルのオーバーウェイトを構築した他、カナダドルのアンダーウェイトを拡大しました。



## ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は前期末比で3.6%上昇しました。

当ファンドはベンチマークを0.3%上回りました。信託報酬等がマイナスに寄与したものの、個別資産要因で国内株式がベンチマークを上回ったことを主因にプラスに寄与し、合成ベンチマークを上回る結果となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳（1万円当たり）

項目	当期
	2020年8月26日 ～2021年2月25日
当期分配金（税引前）	10円
対基準価額比率	0.08%
当期の収益	10円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	3,213円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

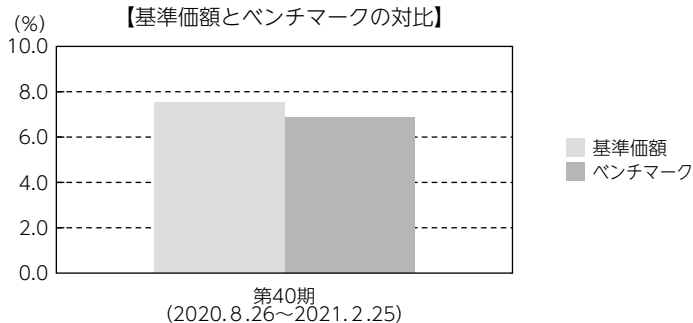
(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

バランス物語50 (安定・成長型)

■ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で6.8%上昇しました。

当ファンドはベンチマークを0.7%上回りました。信託報酬等がマイナスに寄与したものの、個別資産要因で国内株式がベンチマークを上回ったことを主因にプラスに寄与し、合成ベンチマークを上回る結果となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

■分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳 (1万口当たり)

項目	当期
	2020年8月26日 ~2021年2月25日
当期分配金 (税引前)	20円
対基準価額比率	0.13%
当期の収益	20円
当期の収益以外	-1円
翌期繰越分配対象額	5,457円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金 (税引前)」の額が一致しない場合があります。

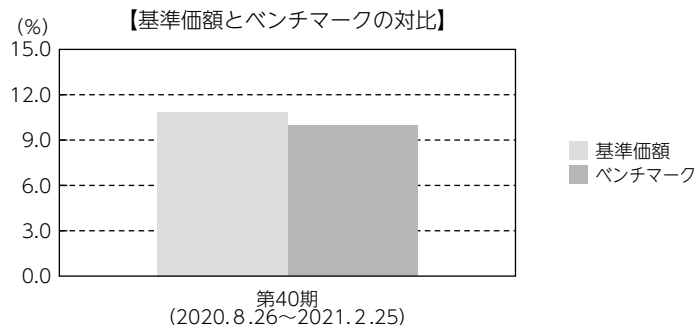
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金 (税引前)」の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益 (含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で10.0%上昇しました。

当ファンドはベンチマークを0.9%上回りました。信託報酬等がマイナスに寄与したものの、個別資産要因で国内株式がベンチマークを上回ったことを主因にプラスに寄与し、合成ベンチマークを上回る結果となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳 (1万口当たり)

項目	当期
	2020年8月26日 ～2021年2月25日
当期分配金 (税引前)	30円
対基準価額比率	0.18%
当期の収益	30円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	7,656円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金 (税引前)」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金 (税引前)」の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益 (含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

各ファンドの資産・アロケーションは、基本アロケーションを基準とし、各資産の時価ウェイトが基本アロケーションから±5%の範囲内に収まるよう必要に応じてリバランスを行います。運用環境見通し等の大きな変更が信託財産の中長期的な成長に影響を及ぼす可能性が高いと判断した場合には、基本アロケーションの若干の見直しを行う場合があります。

### ●DL ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド

主要国の緩和的な金融政策や積極的な財政政策などが支えとなり、株式市場は堅調な展開を想定しています。銘柄選択の視点では、引き続き競争力の強さ等から中期成長性の高い銘柄、足元の業績が市場予想を上回ると予想される銘柄、P E R（株価収益率）等株価バリュエーションが割安な銘柄、株主還元に向きな銘柄等に投資します。また、組入比率については、高位を維持する方針です。

### ●DL ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド

当面の長期金利（10年国債利回り）は△0.05%から0.20%程度のレンジでの推移を予想しています。デュレーション戦略については、長期金利の想定レンジ内での機動的なコントロールを継続します。クレジット戦略については、日銀による政策支援の恩恵から良好な環境が続いており、引き続き高い利回りが期待できる事業債を多めに保有する戦略を継続する方針です。

### ●DL インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド

今後の外国株式市場は、各国中央銀行の大規模金融緩和や各国政府の財政出動、および新型コロナウイルス用ワクチン普及への期待が支えになる一方、米欧における新型コロナウイルスの感染拡大状況に揺さぶられやすい相場展開を想定します。運用方針としては、主に企業の調査活動を通じて魅力的な銘柄の選別に注力します。株式組入比率については、高位を維持する方針です。

### ●DL インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド

新型コロナウイルスのワクチン普及や米追加経済対策による景気回復に楽観的な見方が強まっているものの、世界経済は構造的に下押し圧力がかかりやすく、インフレも抑制された環境下、中長期的には金利低下が進むと予想します。このことから銘柄選択については、米国を中心にデュレーションの長期化を基本とし、リスク量の調整を行う方針です。通貨選択については、中長期的な観点から基本戦略として米ドルをアンダーウェイトとし、需給動向を勘案しながら機動的に戦略を構築します。

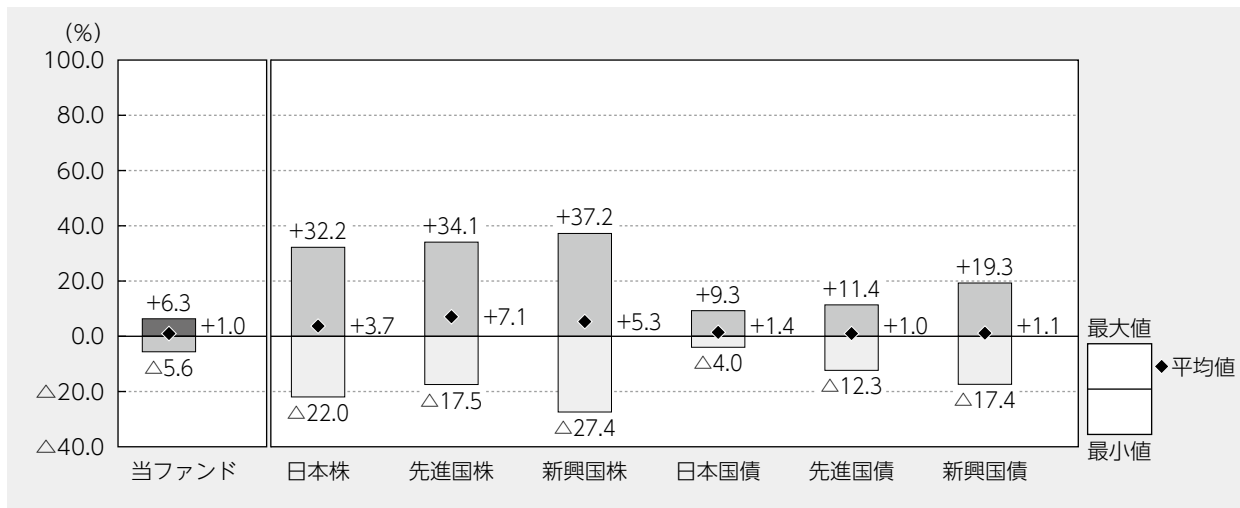
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2000年12月27日から無期限です。	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として安定的な運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド*	以下の各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	DLジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	日本の株式（全上場銘柄）を主要投資対象とします。
	DLジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	日本の公社債を主要投資対象とします。
	DLインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の株式を主要投資対象とします。
	DLインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	<p>主としてマザーファンド受益証券への投資を通して、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券に分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。</p> <p>基本アロケーションのもと、個別資産毎におけるアクティブ運用を行い、委託会社が独自に指数化する合成インデックスをベンチマークとして超過収益を積み上げることを図ります。</p> <p>各資産につき、基本アロケーションにおける各資産毎の比率から±5%以内の範囲で配分比率の変動を抑えます。</p> <p>実質組入外貨建資産の為替リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
配分方針	<p>決算日（原則として2月25日および8月25日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子、配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の中から基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>	

\*ベビーファンドとは、バランス物語30（安定型）、バランス物語50（安定・成長型）、バランス物語70（成長型）です。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

バランス物語30 (安定型)



2016年2月～2021年1月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

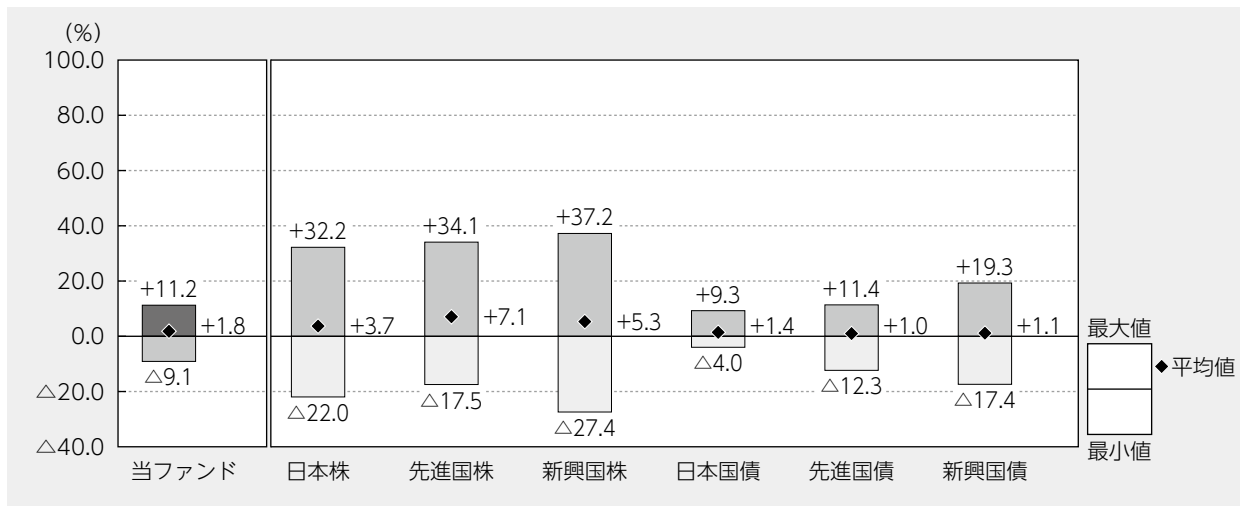
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## バランス物語50 (安定・成長型)



2016年2月～2021年1月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

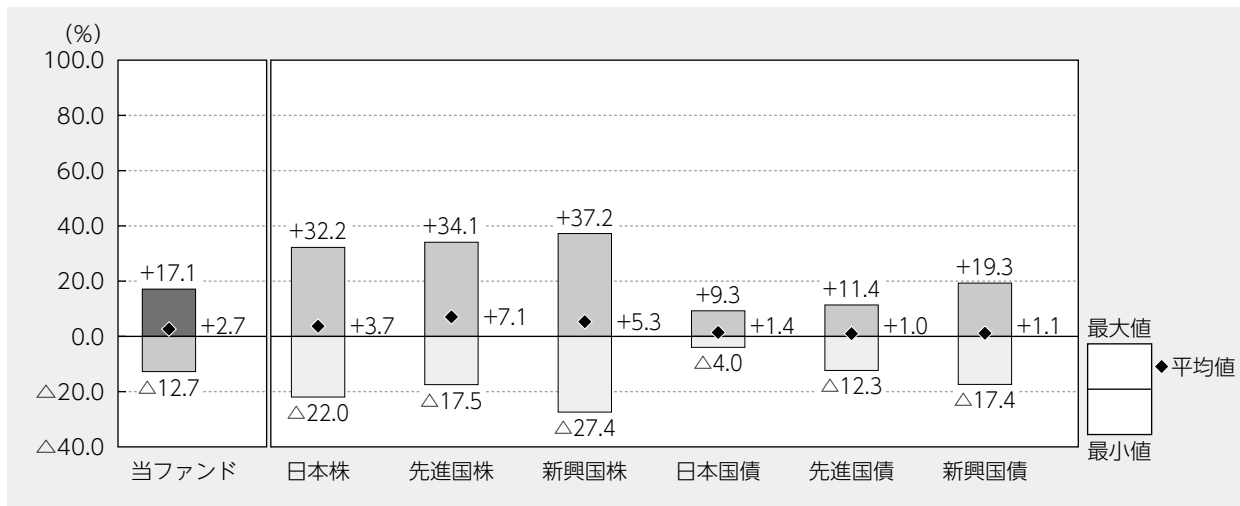
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

バランス物語70 (成長型)



2016年2月～2021年1月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

\*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株……MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債……NOMURA-BPI国債

先進国国債……FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国国債……JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

\*各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。



## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2021年2月25日現在）

バランス物語30（安定型）

#### ◆組入ファンド等

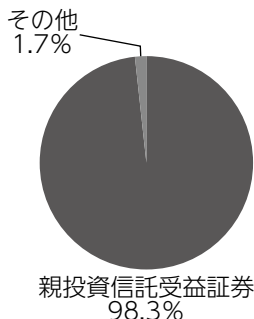
（組入ファンド数：4ファンド）

	当期末
	2021年2月25日
D L ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	65.0%
D L ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	19.6
D L インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	8.1
D L インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	5.6
その他	1.7

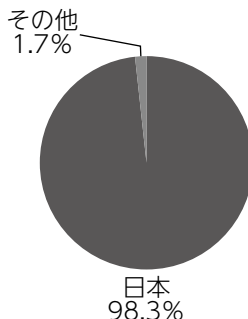
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

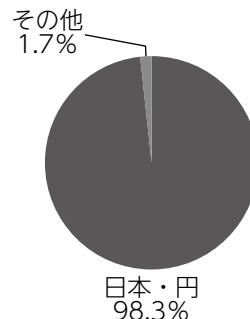
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	当期末
	2021年2月25日
純資産総額	2,027,491,894円
受益権総口数	1,553,739,459口
1万口当たり基準価額	13,049円

（注）当期中における追加設定元本額は5,624,351円、同解約元本額は116,646,987円です。

組入ファンドの概要については、27ページ以降をご覧ください。

バランス物語50 (安定・成長型)

◆組入ファンド等

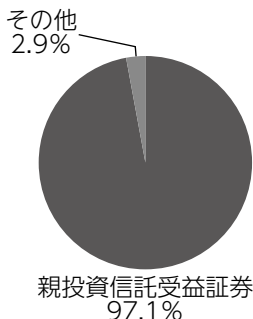
(組入ファンド数：4ファンド)

	当期末
	2021年2月25日
D L ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	41.4%
D L ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	30.8
D L インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	12.9
D L インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	12.0
その他	2.9

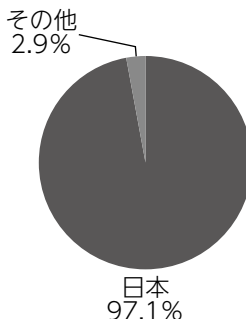
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

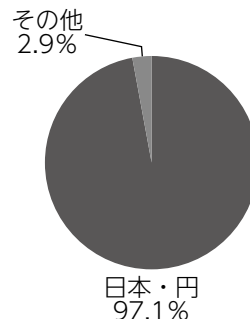
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

項目	当期末
	2021年2月25日
純資産総額	1,147,732,012円
受益権総口数	770,548,854口
1万口当たり基準価額	14,895円

(注) 当期中における追加設定元本額は5,214,008円、同解約元本額は14,331,922円です。

組入ファンドの概要については、27ページ以降をご覧ください。

## バランス物語70 (成長型)

### ◆組入ファンド等

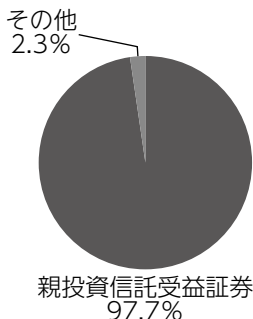
(組入ファンド数：4ファンド)

	当期末
	2021年2月25日
D L ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	40.9%
D L インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	20.5
D L ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	20.3
D L インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	16.0
その他	2.3

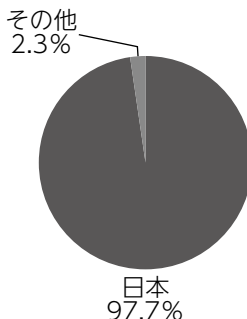
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

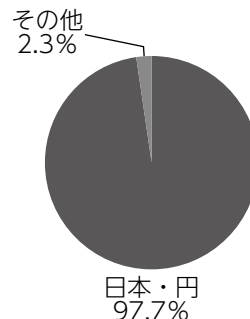
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

## 純資産等

項目	当期末
	2021年2月25日
純資産総額	652,670,199円
受益権総口数	396,157,518口
1万口当たり基準価額	16,475円

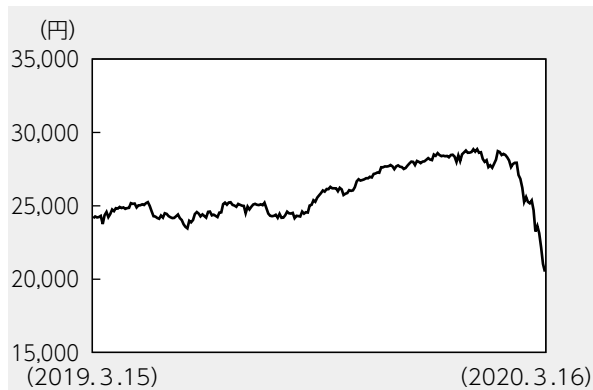
(注) 当期中における追加設定元本額は3,848,660円、同解約元本額は30,066,242円です。

組入ファンドの概要については、27ページ以降をご覧ください。

## 組入ファンドの概要

[D L ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド] (計算期間 2019年3月16日～2020年3月16日)

### ◆基準価額の推移



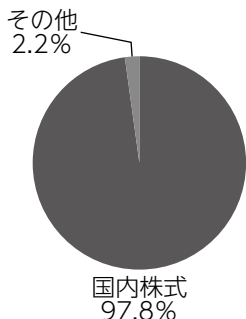
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ソニー	日本・円	4.2%
任天堂	日本・円	3.7
トヨタ自動車	日本・円	3.7
ウエルシアホールディングス	日本・円	3.1
太陽誘電	日本・円	2.8
第一三共	日本・円	2.5
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	2.4
TDK	日本・円	2.4
村田製作所	日本・円	2.3
日本電信電話	日本・円	2.3
組入銘柄数	73銘柄	

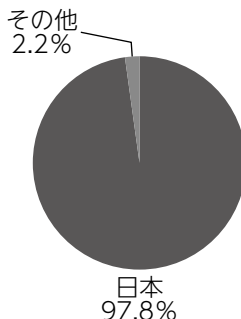
### ◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	14円 (14)	0.054% (0.054)
合計	14	0.054

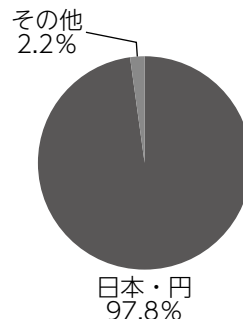
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(25,903円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

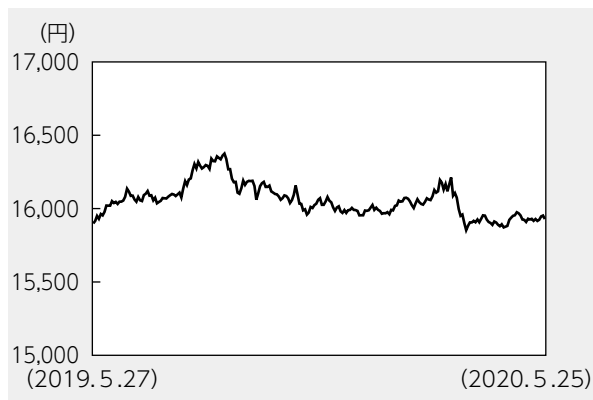
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【DLジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド】 (計算期間 2019年5月28日～2020年5月25日)

◆基準価額の推移



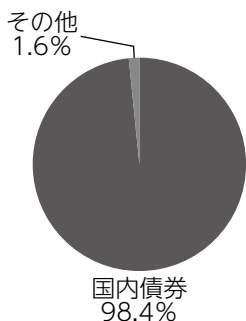
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
355回 利付国庫債券(10年)	日本・円	7.2%
143回 利付国庫債券(5年)	日本・円	5.4
354回 利付国庫債券(10年)	日本・円	4.1
140回 利付国庫債券(20年)	日本・円	3.6
33回 利付国庫債券(30年)	日本・円	3.5
154回 利付国庫債券(20年)	日本・円	2.6
156回 利付国庫債券(20年)	日本・円	2.6
356回 利付国庫債券(10年)	日本・円	2.6
142回 利付国庫債券(20年)	日本・円	2.3
142回 利付国庫債券(5年)	日本・円	2.2
組入銘柄数	127銘柄	

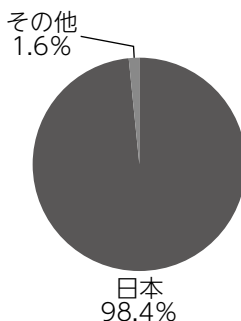
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

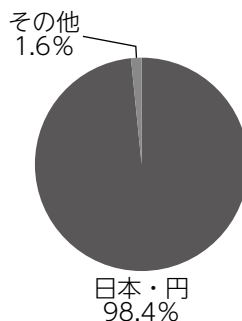
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

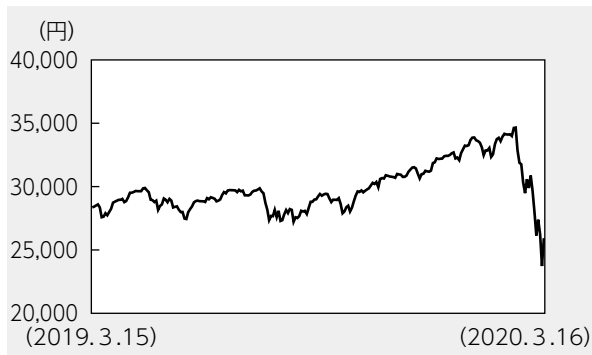
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【D L インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド】（計算期間 2019年3月16日～2020年3月16日）

◆基準価額の推移



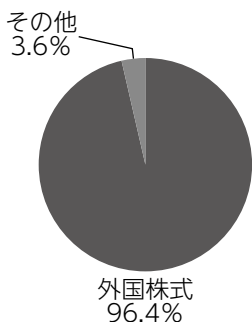
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	5.8%
VISA INC	アメリカ・ドル	3.3
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	3.1
ADOBE INC	アメリカ・ドル	2.9
ZOETIS INC	アメリカ・ドル	2.6
HOME DEPOT INC	アメリカ・ドル	2.4
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイス・フラン	2.4
ELISA OYJ	ユーロ	2.3
WALMART INC	アメリカ・ドル	2.1
CSX CORP	アメリカ・ドル	2.1
組入銘柄数	85銘柄	

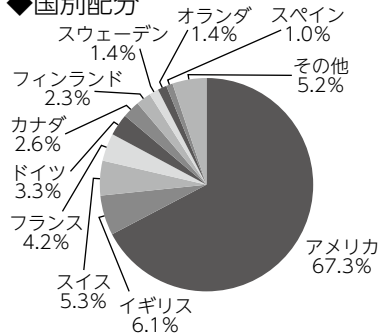
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	6円 ( 6)	0.019% (0.019)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 ( 0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	4 ( 4) ( 0)	0.015 (0.015) (0.000)
合計	10	0.034

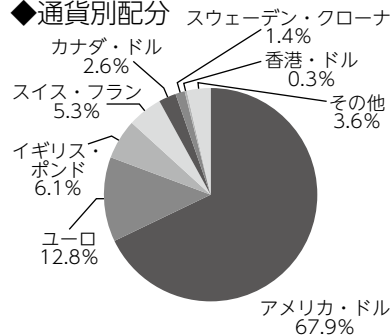
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（29,902円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。（c）その他費用の（その他）は、信託事務の処理に要する諸費用等です。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

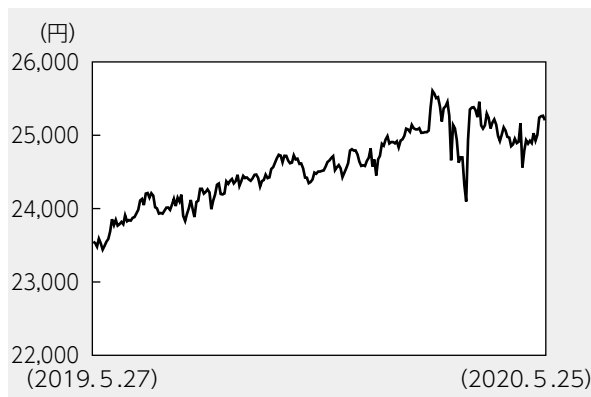
(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。また、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[DLインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド] (計算期間 2019年5月28日～2020年5月25日)

◆基準価額の推移



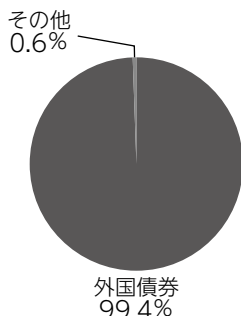
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 2.125 05/15/25	アメリカ・ドル	14.0%
US T N/B 2.375 05/15/29	アメリカ・ドル	8.0
ITALY BTFS 2.5 12/01/24	ユーロ	6.7
ITALY BTFS 1.25 12/01/26	ユーロ	6.3
US T N/B 3.125 11/15/28	アメリカ・ドル	5.2
US T N/B 0.5 03/31/25	アメリカ・ドル	5.0
SPAIN 1.95 04/30/26	ユーロ	3.5
US T N/B 3.125 02/15/42	アメリカ・ドル	3.1
CANADA 1.25 06/01/30	カナダ・ドル	3.0
UK TREASURY 1.75 01/22/49	イギリス・ポンド	3.0
組入銘柄数	46銘柄	

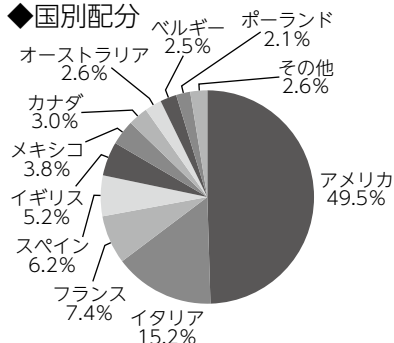
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	4円 (4) (0)	0.015% (0.015) (0.000)
合計	4	0.015

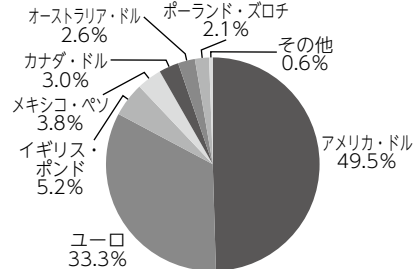
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(24,566円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。(a) その他費用の(その他)は、信託事務の処理に要する諸費用等です。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。また、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注7) 通貨別配分は為替ヘッジ考慮前の割合です。為替ヘッジ考慮後の通貨別配分に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載されています。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

### <当ファンドのベンチマークについて>

- 合成インデックスとは、国内株式については東証株価指数（TOPIX）、国内債券についてはNOMURA-BPI総合、外国株式についてはMSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース）、外国債券についてはFTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）、短期金融資産についてはコール・ローンのオーバーナイト物レートを、各ファンドにおける基本アロケーションに基づいて合成したものです。基本アロケーションについては、前掲の「ポートフォリオについて」をご参照ください。
- 東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- NOMURA-BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。



## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

